

横浜市立杉田小学校

平成29年度 2月学校だより

548号

平成29年1月31日



のぞみ
希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> Tel.771-0649

学校はみんなのもの

副校長 金子博美

「みんなでなかよく」「協力して助け合う」ということを、私たちは家庭や学校で小さいころから習います。それはなぜかと改めて考えてみると少し困りますが、私なりには、人は人と共に生きていくからではないかと思えます。みなさんは、いかがでしょうか。

先日、学校にて「地域防災拠点訓練」が行われました。杉田小学校を防災拠点に、毎年、地域の方々には災害時に備えた様々な訓練活動を行っています。その訓練に今年度は子どもたちも参加する計画を立て、実施に至りました。昨年度は学校の避難訓練の様子を地域防災拠点運営委員の方々にご覧いただき、子どもたちがどのように自分たち自身を守るための訓練をしているかを知っていただきました。そして今年度は子どもたちが地域の方々の活動を知る番になりました。毎日自分たちが通って勉強したり遊んだりしているこの学校が、いざという時にはまちの皆さんを守る施設になることをどれほどの子どもたちが知っているでしょうか。テレビなどの情報で体育館に布団を敷いて過ごす人々の様子を目にすることはあっても、実際に自分たちの学校が同じようになると実感している子は少ないはずです。初めて行う今年度は、まず「知ること」をねらいとして計画を立てました。地域防災拠点運営委員の皆様とも事前に打ち合わせを行い、校内でも安全全部担当職員を中心に職員一同、共通理解を図り、本活動に臨みました。

当日、朝早くから地域の方が体育館やピロティに集まる中、子どもたちは登校しました。防災訓練は3校時から行いました。低学年の子どもたちは、目の前で杉田出張所の署長さんの話を聞きました。防災備蓄庫の中を初めてみた子もいました。起震車が校庭に到着すると、地域の方に交じって6年生の代表児童が体験しました。5年生には、アマチュア無線の方から通信に関する話を聞く機会を設けました。中学年は、担架やランプ、カッターなど災害時に役立つ道具を実際に目の当りにし、その場で使い方も見せていただきました。途中、炊き出し班のそばを通った子どもたちが「いいにおい。学校でご飯も炊くんだね」と少し驚いたようにつぶやいていました。短い時間の活動でしたが、子どもたちには多くの発見と気づきがありました。

「なかよく」「協力」「助け合い」の意味や捉えは様々です。状況や環境によっても違います。今回の訓練によって子どもたちは、自分たちの学校が、まちの人を助けたり困った時に協力し合ったりするための場所でもあることを改めて知ることができたのではないのでしょうか。学校は子どもと地域をつなぎ、共に「なかよく」生きていくためにあります。

今回の経験が杉田小学校の子どもたちの未来に役立つことを願っています。